

『第3回防災推進国民大会』において、ブース展示を実施しました(2018/10/13-14)

テーマ：産学官連携、情報発信、防災・減災
 場所：東京ビッグサイト（東京都江東区）

2018年10月13日(土)および14日(日)に、東京ビッグサイト(東京都江東区)において、『第3回防災推進国民大会』が開催されました。このイベントは、2015年3月に開催された「第3回国連防災世界会議」で採択された「仙台防災枠組2015-2030」を受けて、国民全体で防災意識を向上することを目的に、2016年より防災推進国民会議、防災推進協議会、内閣府の主催により開催されており、今年の大会で3回目となります。寄附研究部門としては、第1回でのシンポジウム開催、第2回でのブース出展、ポスター展示、屋外展示に続いて、今回が3回目の出展となります。

今回のブース展示においては、4点のポスター展示、津波シミュレーションおよび防災教育活動等の動画デモ、防災クリアファイル・東京海上グループ CSRブックレット2018の配布を実施しました。ブースでは当研究所 寄附研究部門の瀧川裕貴助教、林晃大助手、保田真理プロジェクト講師、東京海上日動火災保険株式会社の嶋田浩生氏が説明対応に当たりました。

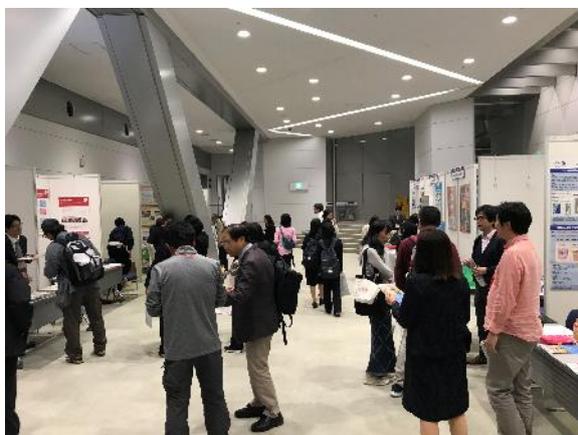
ブースには、小学校教諭や地域で防災を担当されている方、防災・減災に強い関心を持つ方が立ち寄り、多くの質問やご意見をいただくような場面も見られました。当ブースにも2日間であわせて250名ほどの方々に足をとめていただき、盛況のうちに出展を終えました。



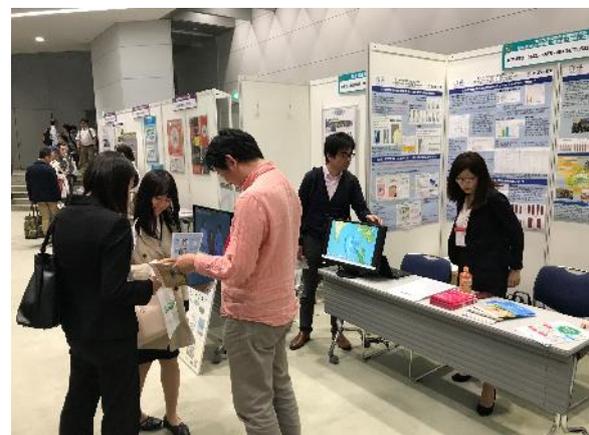
ブース展示の様子



ブース展示の様子



会場の様子



会場の様子